

1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年6月30日

【評価実施概要】

事業所番号	2872700436		
法人名	社会福祉法人きたはりま福祉会		
事業所名	グループホーム りんりんの里		
所在地	兵庫県多可郡多可町中区鍛冶屋763-3 (電話) 0795-32-3330		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成21年4月25日	評価結果確定日	平成21年7月3日

【情報提供票より】 (21年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤7 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 1 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,200 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		860 円

(4) 利用者の概要 (4月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護 1	2	要介護 2	2			
要介護 3	2	要介護 4	3			
要介護 5	0	要支援 2	0			
年齢	平均	87 歳	最低	82 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中町赤十字病院・西脇市立西脇病院
---------	------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

特別養護老人ホームに併設された施設である。周囲は緑に囲まれ、季節の変化が身近に感じられる。和風の建物は、落ち着いた雰囲気と親しみのある造りとなっている。リビングは天井が吹き抜けになっており広々として、心地よい自然光が射し込み窓からは緑の木々が見渡せる居心地良い空間が広がっている。室内の照明・温度調節も行き届き安心して過せる環境が整っている。法人全体は地域との関わりを大切にしており地域で開催されるお祭りへの積極的な参加、また、施設内で開催される祭りに地域の方々が参加するなど、交流を深めている。消防と連携をもち消防活動にも参加している。保育所との交流も定期的に行っている。管理者・職員はご利用者との日々の関わりの中で仕種や言動に注意し、一人ひとりの意向の把握に努め、尊厳を大切にされた支援を目指している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	評価結果を参考にサービスの質向上を図っている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
重点項目	評価の意義を職員に伝え、職員全員で自己評価に評価に取り組み、管理者がまとめた。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
重点項目	3ヶ月に1回開催している。民生委員、施設長、グループホーム職員、ご家族等の参加がある。運営推進会議ではグループホームの利用状況や生活内容について話し合い意見・助言を参考にサービスの向上に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
重点項目	面会時にご家族に声かけをするようにしている。スタッフ全員が意見や不満・苦情が言いやすい雰囲気作りに心がけ、意見や不満・苦情があった場合は職員間で話し合い、改善に活かしている。ご家族にフィードバックするようにしている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
重点項目	地域で開催されるお祭り等に積極的に参加している。また、施設内で開催される祭りに地域の方々が参加し交流を深めている。消防と連携をもち消防活動にも参加している。保育所との交流も定期的に行っている。

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
				(取り組みを期待したい項目)	
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し地域との関わりを持ちながら暮らせるよう具体的に表現された理念を施設内に掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を施設内に掲示し理念に基づいた支援に向けて取り組んでいる。各研修やミーティング時に理念について確認し合うよう努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で開催されるお祭り等に積極的に参加している。また、施設内で開催される祭りに地域の方々が参加し交流を深めている。消防と連携をもち消防活動にも参加している。保育所との交流も定期的に行っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義を職員に伝え、職員全員で評価に取り組み、評価結果を参考にサービスの質向上を図っている。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3ヶ月に1回開催している。民生委員、施設長、グループホーム職員、ご家族等の参加がある。運営推進会議ではグループホームの利用状況や生活内容について話し合い意見・助言を参考にサービスの向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の担当者に苦情相談の相談をしたりしながらサービスの向上に努力している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に個々の家族と身体の状況・生活面のきめ細かい報告をするよう心がけている。定期的に「しあわせ荘だより」を発行し、行事の様子、外出の様子、個々の近況報告などを知らせている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時にご家族に声かけをするようにしている。スタッフ全員が意見や不満・苦情が言い易い雰囲気作りに心がけ、意見や不満・苦情があった場合は職員間で話し合い、改善に活かしている。ご家族にフィードバックするようにしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係を重視し異動は最小限に留める努力をしている。離職などの止む得ない状況においては、細かい引継ぎなどを行いダメージが少なくなるよう努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年間の研修計画に基づき、計画的に行われ職員の質向上に努めている。また外部主催の研修会にも参加し職員の質向上に向けて学ぶ機会を設けている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は同業者との積極的な交流は図られていないが、今後の課題としている。		他施設との交流・連携を持ち相互のサービスの質向上を目指されることを期待する。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所の相談があった場合、ご家族やご本人に見学してもらうことから始め、納得して利用していただけるよう時間をかけて支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の意見を尊重した関わりを重視している。畑仕事や台所仕事など人生の先輩から学ぶという姿勢を大切に関わりを深め、お互いに支えあう関係を持っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で仕種や言動に注意し一人ひとりの意向の把握に努め、尊厳を大切にしたい支援を目指している。さらに本人や家族から情報収集した生活歴を基に一人ひとりの思いを感じ取るよう支援している。</p>		
<p>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人やご家族の意見を踏まえてアセスメントを行い課題を抽出し、個別具体的な介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に入居者の状況についてモニタリングを行い、現状に即した計画を担当者会議を開催し定期的な変更、見直しがなされている。また、状況の変化が見られた場合・ご家族の要望があった場合はその都度計画の見直しを行っている。</p>		<p>認知症高齢者は環境の変化の影響を受け易い特性をふまえ、変化が認められないご利用者についても予防的な視点に基づいた1月に1回の見直しが望まれる。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご利用者が通院している医院や病院へ担当者が同行している。また、入院時も家族と共に同行し生活状況の情報提供を行っている。ご利用者の希望により、併設施設の売店を利用し買物に付き添っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族が希望する医療が受けられるよう支援している。ご家族の状況に応じて通院支援を行い、受診結果を電話で報告し情報の共有に努めている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>契約時に意向を確認し、状況に応じて家族・主治医との話し合いを重ね同意を得るようにしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>高齢者の尊厳保持についてホーム全体で研修会を開催し利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。職員はご利用者一人ひとりにやさしく接している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、利用者のペースに合わせた過ごし方を支援している。お天気の良い日は散歩に出かけたり、その日の雰囲気によって対応している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事時間はゆったりとした時間の中で会話を楽しみながら職員とともに食事時間を過している。基本的には併設施設の献立がベースになっているが盛り付け配膳、下膳・後片付けは入居者と共に行っている。おやつ作りや、食事作りを楽しむ機会がある。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ご利用者の希望にあわせ、毎日入浴できるようになっており、一人ひとりの希望や習慣に合わせて、くつろいだ入浴ができるように支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの力を引き出せるような働きかけを基本に、畑や食器洗い、掃除、洗濯物たたみなど、ご利用者の経験を活かせる場面作りを行い、一人ひとりが楽しみごとや役割を見出し、自信に繋げるよう支援している。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>ホームの中だけで過ごさず、周辺は自然豊かな環境にあり季節を肌で感じながら、広い敷地内を自由に散歩し、また、毎日近隣の散歩にも出かけている。季節に応じてお花見やサーカスなどへ積極的に出かけている。自宅の様子を見るための外出など個々の希望に応じる外出支援も行われている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の状況や変化を把握することにより、外に出たいご利用者の様子を察し、散歩などに行ったりしながら、日中鍵をかけない暮らしを支援している。リビングから自由に外に出れる状況にあり閉塞感を感じられない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練を実施している。地域の消防団が年1回消防確認に訪れている。また災害時には地域の方の協力が得られる体制作りが出来ている災害に備え備蓄もできている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別に食事摂取量のチェックを行いカロリーの過不足や栄養の偏りを把握するようにしている。また、必要に応じて水分摂取量のチェックを行い必要な水分が取れるよう支援している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間である居間は天井が吹き抜けになっており広々と感じられ、心地よい自然光が射し込み、窓からは緑の木々が見え居心地良い空間が広がっている。室内の照明・温度調節も行き届き安心して過せる環境が整っている。		
		居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの居室には使い慣れた品々が使いやすいように並べられている。入居者が安心して過ごせる居室になるよう配慮されている。		

は、重点項目。